

中小企業

ぎふ

Vol.658

2019年 1月25日発行

隔月25日(年6回)発行



クローズアップ企業 2~3

多治見美濃焼卸センター協同組合 組合員
「株式会社丸東」

- 会員組合紹介 4~5
- 先進組合事例紹介 5
- 中央会の活動 6~9
- 組合等の活動 10~12
- 組合事務局職員の紹介 13
- 組合士の問題に挑戦! 13
- 景況レポート 14~15
- 中央会職員レポート 16
- インフォメーション 17
- 年賀広告 18~22



連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

~中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します~

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市藪田南5丁目14番53号 OKBふれあい会館9階
TEL 058-277-1100(代) FAX 058-273-3930
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

クローズアップ企業

株式会社丸東

【多治見美濃焼卸センター協同組合 組合員】



《企業概要》 本 社 岐阜県多治見市旭ヶ丘10丁目6番72号
ショールーム 岐阜県多治見市旭ヶ丘10丁目6番48号
代表取締役 倉知 隆行
<http://www.studio010.net>

全国各地で消費されている美濃焼の流通拠点となる卸商業団地の形成を目的として、和洋食器やタイルといった陶磁器関連の卸業者55社が結集して昭和47年に組合を設立、高度化事業を活用し、多治見市の総合開発計画に基づいて中央自動車道多治見ICの程近くの丘陵地に昭和50年に「多治見美濃焼卸センター」が完成しました。

団地の入口には大ホールや会議室を備えた組合会館があり、1階には陶磁器ギャラリーショップ「美濃焼スクエア」があります。組合では共同施設の管理・運営のほか、共同宣伝・販売を積極的に行っています。毎年10月に開催する「たじみ茶碗まつり」は2日間で20万人が訪れるイベントとなっています。また青年部「陶都会」の活動も活発で、茶碗まつりをはじめとするイベントや団地内の従業員の交流会などは青年部メンバーが中心となって企画・運営しています。

今回は、団地内に本社とショールームを構え、業務用洋食器を中心に卸売だけでなく自社窯を備えて絵付けなどの製造も手掛ける「株式会社丸東」を訪問し、組合の副理事長でもある倉知隆行社長にお話を伺ってきました。

◎御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

☞ 倉知社長



倉知社長

弊社は私の祖父が1946年に創業して以来、主にホテルやレストラン、カフェといったプロ向けの業務用食器を中心に卸しています。“真っ白な洋食器”からスタートしましたが、創業後間もなく窯を導入し、オリジナルの柄やロゴマークなどの絵付けをする製造工程を自社で行うようにしました。美濃焼産地全体で輸出が盛んな

時代で、弊社もアメリカや香港、シンガポールなどへの輸出を中心に業績を伸ばしてきました。多治見美濃焼卸センターの完成と同時に団地内に本社を構え、現在に至ります。

私自身は、高校卒業後アメリカに留学してジュエリーのデザインと製作を学び、西海岸のジュエリー専門店で働いていました。感性に溢れたデザインや製作の仕事は非常に楽しく、ジュエリーの道を極めるという選択肢もありましたが、25歳で実家に戻り、1990年から家業に専念しています。私が入社した当時はお客様からのオーダーに応じたOEMが100%でした。東京に新たなホテルができるとなると、建設前から完成イメージのスケッチをもとにホテルの宴会場で使われる食器の打ち合わせを重ね、オリジナルデザインの商品を納めるといった依頼が多くありました。また、父の時代から本格的にデザイナーを登用し、お客様のシーンに応じたデザイン性の高い食器を製作してきました。ところが、ほどなくして父が若く

して他界します。私が33歳の時でした。時代の流れとともに輸出も国内需要も縮小しており、これからどうしようかという苦悶もありましたが、客先からのオーダーに応じるだけでなく、自社の絵付け技術を最大限に活かしながらもシンプルかつモダンなデザインの器を提案する自社ブランドを立ち上げました。それが「studio010」です。2003年に始動し、軌道に乗るまでは展示会出展を継続してPRしました。また、2005年からは団地内にショールームを設けています。自社窯による小ロット多品種対応ができることもあり、現在ではOEMと並行して何万種類もの食器類を国内外に向けて発信し、贈答用から家庭用まで幅広くご利用いただいています。

◎御社の特徴や方針を教えてください。

☞ 倉知社長

絵付けは創業以来現在まで続く当社の強みです。陶磁器業界は分業が一般的で、創業当時も今の時代も卸商でありながら自社で窯を所有して絵付けを行うところは稀です。絵付けは職人による手作業で行っています。筆による手描き、模様の手写(貼り付け)など、職人の熟練した技術が必要となります。まっすぐに線を引く、まっすぐに貼る、といった工程は些細なことに思われますが、一つの仕上がり



職人による絵付け手作業

を見ていただくと丁寧な仕事は伝わるものです。陶磁器ができるまでの工程をよくご存じない方でも、当社の工場を見学していただくと大変な手間がかかっていることをすぐに理解していただけます。



自社窯で焼成

こうした少しずつの丁寧な積み重ねが実績となり、信頼につながり、「洋食器といえば丸東」と言っているのではないかと思います。

◎組合に期待することは何ですか？

☞ 倉知社長

組合に期待するというよりも、自分が組合のために何ができるか、という想いの方が強いです。

組合は設立から半世紀を迎え、組合会館の老朽化や組合が運営するショップ「美濃焼スクエア」の見直しなどの課題を抱えています。そのような中、前理事長のリーダーシップのもと組合役員の若返りが図られ、現在の理事は30代・40代の経営者が大半を占めています。もともと青年部でたじみ茶碗まつりや団地内の従業員の親睦会、近隣の卸団地との交流会といった活動を通じて親睦を深めており、活発な意見交換ができる良い雰囲気です。

私は副理事長を拝命していますが、次世代を担う仲間と共に、組合の将来を考える「未来ビジョンプロジェクト」のメンバーとして、今後の方向性について真剣に話し合いを重ねているところです。新たな構想に向け、組合だけでなく多治見市や陶磁器業界全体という広い視点を持って取り組んでいきたいと思っています。

◎経営をしていく上で大切にしていることを教えてください。

☞ 倉知社長

「唯一無二」であることです。世の中には数多くの陶磁器が溢れています。その中で、安価で大量に生産することよりも、ひと手間もふた手間もかかるけれど、「ここでしか買えない」「うちにしかない」ものを提供することを目指しています。

studio010のショールームのディスプレイは、全て私自身の手掛けています。レストランを巡って器の使い方を勉強するといった陶磁器に関することに限らず、よく遊び、よく見て、何でも経験し、吸収する感性を大切にしています。

絵付けのお皿は食器として使うだけではなく“ショープレート”のようにおもてなしの気持ちを表現し、華やかな場を演出する力を持っています。皿1枚1枚の個性を大切にするとともに、意外な組み合わせやテーブルコーディネートによる提案を通じて、器を手取る方それぞれが自分の好きな世界観を見つけて楽しんでいただけると嬉しいです。



オリジナルブランド
studio010のショールーム

◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

☞ 倉知社長

国内需要が縮小する中、海外にも再び目を向ける必要性を感じています。ドイツや韓国、中国に加えて、昨年は新たにドバイから注文があり、今後も海外へ向けた取組を強化していきたいと考えています。

また、近年の器のトレンドは“形による表現”が主流です。かつては洋食器と言えば大・中・小の丸皿が大半でしたが、現在は丸や四角に限らず様々な形状があります。そして残念なことに、絵付けによるものは減少傾向にあります。このような状況に対応することも大切ですが、弊社では敢えてパッと目を引くような絵付けの皿を作り続けています。職人の技術を伝承するためでもあります。絵付けは自社の一番の特徴であり強みでもあるため、より際立たせていきたいと考えます。

今後も自社にしかできない技術を高め、オンリーワンの商品を提供し続けていきたいです。

【組合概要】 多治見美濃焼卸センター協同組合

理事長 谷口 稔昌 (株式会社山喜 代表取締役)

〒507-0071 岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-33

組合員数：37社

主な事業：共同施設・用地の維持管理事業、共同宣伝事業、
教育情報事業、福利厚生事業 等



組合紹介

こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を行っていますので、皆様の仲間を紹介します。



岐阜繊維福祉協同組合

- 理事長 武藤雅紀
- 組合員数 143人
- 設立年月 昭和34年2月
- 住所 岐阜市葭町6丁目8番地
- TEL 058-251-1371

◆組合の歴史・活動



武藤理事長

当組合は、主に繊維関係の企業の食を預かる福祉給食としてスタートしました。戦後、岐阜駅前一带は全国に知られるアパレル産業の中心地として発展を遂げます。駅周辺には市場や共同販売所がひしめき合うように並ぶ岐阜繊維問屋町が形成されました。急速に経済成長を遂げる中で、皆が精

いっぱい働き、問屋町全体が家族のような雰囲気、従業員も揃って食事を共にしていました。食事をつくる暇もないほどの忙しさで、各事業所に食堂を設ける場所の余裕もなかったことから、繊維問屋町の12人が発起人となり、繊維業に関わる組合員の福利厚生に資することを目的として、昭和34年2月「岐阜繊維福祉協同組合」を設立し、組合員及び家族並びに従業員の食事を供給する給食事業を開始しました。岐阜市福住町に設けた共同炊事場で、朝食はご飯とお味噌汁、昼食はお弁当をつかって組合員の店舗まで配達し、組合員やその従業員は食事の心配がなくなったと大変重宝されました。組合員間は仕事においてはライバルでしたが、皆が同じものを食べることで、一体とな



毎日たくさんのお弁当が作られる

て岐阜のアパレルを発展させていこうという思いがありました。この共同給食は他に先駆けて開始されたことから、県内はもとより全国各地から視察があり、日本中に給食事業を普及する端緒となりました。

また、繊維業の発展とともに多くの若者が他地域から就職してきており、住居不足が問題となっていたことから、組合員及びその従業員のための住宅の建設及び管理運営を行う事業を協同組合としては初の試みとして開始し、日本住宅公団の協力を得て鉄筋高層住宅を建設しました。

こうした組合員の福祉向上に寄与した功績により、県知事表彰の受賞と共に県のモデル組合に指定、次いで労働大臣から全国初の優良組合表彰を受賞しました。

その後も岐阜アパレルは県の基幹産業へと成長を続け、設立当初の共同炊事場では手狭になったことから、組合役職員が一丸となって融資や建設用地の取得に奔走し、昭和46年に現在の工場がある岐阜市葭町に移転しました。

この他にも、自家用自動車の保管、組合員が取り扱う資材の共同購入や製品の共同輸送、教育情報など、組合員を支える事業を展開してきました。

組合設立から60年以上の間、調理方法やメニュー開発など幾多の改善を行うとともに、組合員資格を繊維業の他にも拡大し、より多くの方が給食事業を利用できるようになりました。また、長年の実績から、学校給食の調理受託や地元企業の社員食堂運営、国体や育樹祭などの県内で開催される大きな催事の弁当提供なども依頼があり、現在は「クッキングぎせん」の愛称で、地域の方に安全・安心な食を広く提供しています。

◆組合が目指す方向性とは

組合を取り巻く状況は設立時より大きく変化をしており、国内の繊維業界全体が苦戦を強いられる中、廃業等により組合員数は減少を続けています。また、コンビニをはじめとする中食の充実等により、給食に頼らずとも手軽に食事がとれる時代となりました。

武藤理事長は「当組合は、給食事業を通して組合員の健康維持に寄与し、岐阜の繊維業界発展を支えてきたという自負があります。私自身も組合の給食を食べて育ってきました。子どもの頃に、給食の味噌汁に自分でちくわを入れるのが楽しみだったことが思い出されます。しかし、時代は変化していきます。かつては組合員に対してある種独占的に給食を提供していましたが、今は食に対する安全や健康への意識が高まり、多種多様な選択肢がある中から選ばれるものを提供しなくては事業を継続できません。時代の変

※組合紹介が可能な組合がございましたら、中央会の国際・情報課までお知らせください。

化に対応するためには組合役職員の意識改革が必要でしたが、それは決して簡単ではなく、血の滲むような努力をしたといっても過言ではありません。今後も設備の老朽化対策、HACCPの対応、働き方改革の推進、適正価格の維持など課題は山積みですが、組合発展の原点は“人”です。こうした難しいときこそ、人材育成に取り組む好機と捉え、調理師を中心としたメニュー開発や生産性向上、設備の有効活用など、新たなことにも挑戦していきたいと考えています。組合給食は、ただ食事を提供するだけでなく、食事を通じてコミュニケーションを図り仕事に対するモチベーションを高める時間を提供する役割も果たしていると思います。お弁当が安心・安全であることはもちろん、ぱっと蓋を開けたときに笑顔になるような『お弁当は芸術』という心意気を大切に、これか

らも組合員の発展を願ってお弁当を作り続けます」と抱負を語られました。



「クッキングぎせん」の愛称が入ったパッドや車でお届け

～日頃のつながり・備え・学びが地域の財産～

全国の先進組合事例

全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（平成29年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。
 ★先進組合事例抄録は、過去のものを含め、全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」として公開していますので、ぜひご活用ください。「組合事例検索システム」<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

○システム構築による業務効率化、データの戦略的活用 都北地区建設事業協同組合

IT 活用による業務のフラット化・仕組み化

- 住 所 宮崎県都城市北原町1654番地1 都城建設会館内
- 電話番号 0986-24-6269
- U R L <http://www.miyakonojo-kenkyo.jp/cooperative>
- 設 立 昭和59年4月 ■ 出 資 金 1,840千円
- 主な業種 建設業 ■ 組 合 員 184人

■背景と目的

当組合は、平成27年度から宮崎県都城土木事務所管内の「地域総合メンテナンス業務」を受託していたが、職員の残業が日常的になる等、膨大な報告書の作成業務に追われていた。また、土木事務所と組合・組合員間における受注・請求（積算）等にも膨大な業務量が発生するため、システム化が避けられない状況だったことから、組合でシステムを導入・構築し、業務効率化に取り組むこととした。

■事業・活動の内容と手法

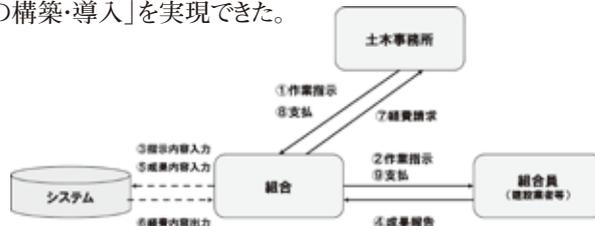
（株）富士通交通・道路データサービスの「道路パトロール支援サービス」を活用し、パトロール車にスマートフォンを搭載することで、運行や作業位置情報の自動取得及び現場での報告書作成を実現した。



また、発注者である土木事務所にとっても即時に写真等の現場状況の情報を共有できるほか、運行しながら道路の劣化状態を自動的に推定できるため、最新の劣化状態の確認及び予防保全の推進に繋げることができるようになる等、波及効果の高い取組みとなった。

さらに、「土木事務所と組合・組合員間における受注・請求（積算）等の業務を一括管理するシステム」を構築・導入することにより、組合の大幅な業務効率化に繋がった。

理事会で取組みの大枠の承認を経て、専務理事が道路巡視員等職員やシステム会社、土木事務所等の外部関係者と意見交換を重ねながら基本構想を練り、最終的な導入まで一貫して行ったことにより、「管理・現場両方の面で機能するシステムの構築・導入」を実現できた。



■成果

パトロール車へのスマートフォン搭載及びシステム導入により、従来は道路巡視員が帰着後に大きな手間をかけて作成していた報告書が概ね30分程度で作成可能となった（労務時間・労務費の軽減）。

また、受注・請求業務の迅速化や正確性の向上、案件毎の進行管理の簡素化等にも繋がり、決算事務や組合員への支払短期化についても実現することができた（事務の効率化）。

❗ 事業・活動推進のキーファクター

- ・専務理事の「システム化は必須」という強い思い。
- ・その思いの下、職員の意見を重視し、企画・調整から最終導入に至るまで、キーマンが中心的な役割を担ったこと。

会長新春インタビュー



新春インタビューに応える今井会長

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり会員の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

わが国経済は、回復傾向にあるといわれているものの、中小企業・小規模事業者には回復の実感は薄く、人手不足感は一層高まり、後継者難による事業承継の困難化などの課題も深刻さを増しています。加えて、10月に予定されている消費税増税の影響が懸念されます。

このような状況の中で、地域経済・雇用を支える中小企業・小規模事業者は、経営基盤を強化し持続的な成長を目指して果敢にチャレンジを続けることが求められています。そのためには個々の努力とともに、組合等の中小企業連携組織をより一層活用し、経営資源の相互補完やリスクの分散を図り、経営の安定に努めることが重要であると考えます。

中央会としては、中小企業連携組織の専門機関として、組合と中小企業の現場に足を運び、ニーズの把握に努め、課題解決のための多様な事業を通じて会員組合、組合員企業の期待に応えていく所存です。今後ともご支援方よろしくお願ひ申し上げます。

『連携の力で無限の可能性にチャレンジ！』

～中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します～

❖昨年を振り返って

企業間連携、人材確保支援、働く女性の活躍推進、ものづくり補助金の地域事務局運営の重点活動を中心に展開しました。

異業種企業の連携促進により地域資源に着目した商品開発支援、新卒だけでなく既卒者や転職希望者も対象とした合同企業説明会の開催、組合女性事務局を対象とした懇談会の開催などに取り組みました。

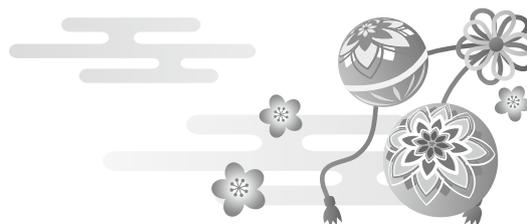
ものづくり補助金においては、2012年から地域事務局として県内企業を支援していますが、これまでの6年間で延べ1,433件が採択され、申請のあった補助金額は約126億円に達しました。また、昨年はものづくり補助金事業に取り組んだ企業の販売促進や販路開拓等のフォローアップ支援を行う「ぎふものづくり連携倶楽部(G-Club)」を立ち上げ、交流会の開催やビジネスマッチングにも活用できるホームページの開設、展示会「メッセナゴヤ」の共同出展などを行いました。

❖中央会の活動と方針

中央会は、引き続き「連携の力で無限の可能性にチャレンジ！ ～中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します～」をスローガンに掲げ、中小企業組合及び中小企業の活力ある発展のための取り組みを行います。

平成31年度においては、中央会の恒常的活動である巡回、窓口相談等により把握した組合及び中小企業者のニーズに対し、専門家の派遣による課題解決策の提案、研修会の開催、情報提供を行うとともに、重点事業として、次の事業に取り組みます。

- ① 組合・企業間連携の促進と新商品開発等の支援
- ② 人手不足対策としての人材確保支援
- ③ 組合事務局及び組合員企業で働く女性の活躍推進
- ④ ものづくり補助金にかかる地域事務局の運営
- ⑤ 若手経営者の育成と事業承継支援



具体的には、今年度に引き続き地域資源に着目した新たな需要開拓や新商品開発のための連携促進事業、岐阜県等と連携して行う組合及び組合員企業の人材確保支援、組合事務局の女性職員を対象とした懇談会の開催、ものづくり補助金にかかる地域事務局の運営及び「ぎふものづくり連携倶楽部」の活動を通じた販売促進や販路開拓等のフォローアップ支援に取り組むとともに、新たに組合青年部の組織化支援の強化及び円滑な事業承継に向けた対策セミナーの開催などを実施します。

中央会活動

理事会並びに役員交流会を開催

中央会は、理事会及び講演会、並びに役員交流会を11月27日にホテルパークで開催した。

理事会には本会役員37名が出席し、来年度の事業計画及び収支予算の概案等について審議したほか、新規加入組合や今年度の主な事業の進捗状況等について報告した。続いて、中京大学国際教養学部の風間孝教授より「LGBTと労働環境～企業が取り組む必要性～」をテーマに講演会を行った。

理事会終了後には、古田肇岐阜県知事を迎えて役員交流会を開催した。

【理事会】

開会にあたり今井会長は「会長に就任して6ヶ月となった。本年度より新しく『連携の力で無限の可能性にチャレンジ』をスローガンとして掲げ、皆様に支えていただきながら事業を推進している。引き続き会員組合及び組合員企業のニーズの把握に努め、支援していきたい」とあいさつした。

続いて議案審議に入り、平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)の概案について審議し、原案どおり可決承認した。また、新規加入組合等のほか、今年度の主な事業の進捗状況、平成31年度の通常総会日程等について報告を行った。



理事会の開会にあたり今井会長があいさつ

【新規加入組合】

期間：2018年4月20日～11月26日まで
※()内は所在地・組合員数

【1号会員】

アシスト協同組合(美濃加茂市・14名)
岐阜福祉サポート協同組合(各務原市・4名)
名岐福祉協同組合(岐阜市・5名)
ステップアップ協同組合(大垣市・15名)

【理事会及び通常総会の日程等】

- 平成31年度第1回理事会
2019年4月19日(金) 10:30～12:00
OKBふれあい会館「大会議室」
- 第64回通常総会
2019年6月14日(金) 15:30～
岐阜都ホテル「ボールルーム」

【講演会】

テーマ 「LGBTと労働環境～企業が取り組む必要性～」

講師 中京大学国際教養学部 教授 風間 孝 氏

風間教授より「職場におけるLGBT(性的マイノリティ)当事者の割合は約8%といわれているが、職場で不利な扱いを受けるといった不安などから多くの人はLGBTであることを周囲の人には打ち明けていない」といった状況の説明があり、職場において必要とされる取り組みとして性的マイノリティに対する理解促進のための研修や募集・採用にあたって不利益な扱いをしないという方針の明示、施設の利用・服装規制に関する配慮などを紹介した上で、「LGBTへの差別のない職場は、非当事者にとっても働きやすい環境である。職場に性的マイノリティがあると仮定して、みなさんの職場は働きやすい環境になっているかを是非考えてほしい」と投げかけた。



中京大学 風間教授による講演会

【役員交流会】

古田肇岐阜県知事をはじめとして多くの来賓を迎え、役員交流会を開催した。

古田知事は開会にあたり「岐阜県の魅力を発信する良い流れができています。岐阜県を舞台としたNHKのドラマ「半分、青い。」の影響により、全国に岐阜が知れ渡った。2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」にも期待をしている。各務原航空宇宙博物館やあゆパークなど県施設の来場者も順調に増加している。今後も岐阜県のPRを積極的に行っていく。一方で、豪雨や台風といった自然災害の対応として、治山・治水の重要性が改めて認識されている。この他にも豚コレラなどの問題もあり、適切かつ迅速に対処していく。また、多くの中小企業から人手不足の声を聞いている。県では総合人材確保センターの設置による人材確保・定着支援や企業フェスティバルの開催による県内企業のPRを行っている。この他にも多々課題はあるが、明るい方向に向かっていけるよう皆さんと共に努力していきたい」とあいさつした。



交流会で古田知事があいさつ

中小企業の官公需確保をめざしフォーラムを開催

中央会と岐阜県建設関連業団体部会(荒川晶一部会長)は、中小企業の官公需確保を支援するため、11月26日に「県官公需フォーラム」をホテルグランヴェール岐山で開催し、部会員21名が参加した。

県担当者との懇談会では、荒川部会長並びに県土整備部の大野土木技監からあいさつがあった。続いて、県担当者から事前に提出した要望に対する回答があり、部会員からは業界の状況等が報告された。

県議会幹部議員との懇談会では、尾藤義昭議長、酒向薫総務委員長、田中勝士企画経済委員長、加藤大博厚生環境

委員長、伊藤秀光土木委員長、長屋光征教育警察委員長、藤壇守自由民主党岐阜県連政調会長、自由民主党岐阜県連会長代行であり部会顧問の猫田孝県議にご出席を頂き、各部会員が業界の抱える課題等について要望し、出席議員の方々から災害への対応や人材確保に向けた取組などについてそれぞれ所見が述べられた。



県議会幹部議員との懇談会

平成30年度情報連絡員会議を開催

中央会では、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役職員（17業種、70名）を情報連絡員として委嘱し、毎月の連絡員からの景況報告をもとに業界の現状及び課題等について情報提供を行っている。（本誌14・15ページ）12月4日にグランヴェール岐阜で「情報連絡員会議」を開催し、本会が委嘱する情報連絡員26名が出席して、各業界の動向や今後の見通しなどが報告された。

会議冒頭では、東海財務局岐阜財務事務所の森裕一財務課長より「岐阜県内の経済情勢について」をテーマに情報提供があった。

続いて、出席した情報連絡員を代表して12名の方より、業界の取り組みや今後の展開について下記の通り報告があった。

最後に毎月の業況報告に対する謝意を伝え、会議は終了した。



情報連絡員会議



業況等を報告

<平成30年度情報連絡員会議における報告概要>

岐阜婦人子供服(工組) 専務理事 岩田 幹夫 氏

アパレル製品は、デフレ傾向が収まらず厳しい状況にある。操業度もピーク時と比較すると20%程にまで低下している。一部の会員企業はOEM・ODMを中心とした展開をし、業績を改善させている。後継者問題の解決や新規起業を促す取組を産地全体で取り組んでいく。

岐阜県窯業原料(協) 専務理事 寺嶋 一博 氏

窯業原料の枯渇が業界最大の課題となっている。平成26年に多治見市・土岐市・瑞浪市の業界団体で設立した「美濃焼みらい会議」において、原料確保のために業界を挙げて取り組んでいる。代替原料確保のため、青サバを活用する研究を愛知県窯業原料(協)と共同で行い、採掘や精製の方法などにおいて一定の成果があった。

赤帽岐阜県軽自動車運送(協) 理事長 曾根 憲一 氏

中央会事業を活用して策定した行動計画により共同受注を強化し、昨年度は前年度比3%増、今年度は4%増を見込んでいる。一方で、ドライバー不足は深刻であり、人手不足のため受注できない案件も発生し始めている。体調管理に重点をおき、組合で栄養士を招き体調管理やセルフケアについての講習を開催している。

(協)土岐美濃焼卸センター 専務理事 伊藤 隆 氏

岐阜県の陶磁器生産量は国内シェア43.3%を占め、土岐市の生産量はその7割に及ぶが、市場規模の縮小、卸小売業者の減少による販売ルート縮小、メーカーの下請け業者・職人の高齢化による廃業、後継者不足、窯業原料の枯渇など抱える問題は多く、いずれも解決には時間を要する。

下呂温泉旅館(協) 事務局長 奥村 公平 氏

今年度は、4月～6月までは前年度の客数と比較して2万人以上の増加を記録していたが、7月以降は西日本豪雨や台風などの影響を受け大幅な客足の減少となった。人手不足や事業承継問題、高額な固定資産税負担、旅館の耐震対応など多くの問題を抱えている。

岐阜県板金(工組) 理事長 村上 正雄 氏

今年度当初は全体的に低調であったが、台風の影響で仕事が急増して忙しい状況が続いている。作業中の事故が発生したこともあり、毎年継続して安全講習会を開催しているが、安全対策講習をより強化する。

丸重製紙(企) 常務理事 辻 将之 氏

原料となるパルプ価格が過去最高を記録して高止まりしていることに加え、中国が古紙を積極的に輸入し始めた影響で原材料の確保が困難となっている。紙製品の市場価格は9割が中間流通業者やデザイン費用であり、製造業者の収入確保について働きかける必要性を感じている。

岐阜県菓子(工組) 理事長 澤田 誠 氏

コンビニのお菓子など大量販売に特化した競合により、我々のようなローカルな製造小売店は淘汰されつつある。HACCPなど各種法令への対応が迫られているが、組合員は和菓子・洋菓子・焼き菓子など細分化されており、一律にはできない。組合員間での情報共有の迅速化・組合事業の活用の普及を進めることで対応していく。

岐阜県可児工業団地(協) 参事兼事務局長 高橋 淳 氏

全体的には好調に推移し、組合員の従業員数はリーマンショック以前の人数まで回復した。組合の共同受電事業は増加が継続していたが、上昇幅が縮小傾向にあり景気のピークを迎えたと予測している。共通の課題として人材確保・育成に取り組んでおり、生産管理・リーダーマネジメントなどの講習会を開催している。

岐阜県電器(商組) 事務局長 熊澤 陽一郎 氏

組合員は街の電器屋である。経営者の高齢化が問題となっており、冷蔵庫や洗濯機など大型化した家電製品の納品が困難なことから、取扱いができなくなってきたという声を受け、組合員間で協力して運搬するなどして対応を図っている。

飛騨高山旅館ホテル(協) 常務理事 中畑 稔 氏

観光客は順調に増加していたが自然災害によりJR高山本線が運休となった影響は大きく、直通バスを手配するも客足の落込みは回復していない。風評被害の影響もある。労働力不足は深刻であり、高山市に設立を嘆願していた夜間保育所が30年4月より開所した。消費税の外税表記については全旅連全体で要望としている。

岐阜県鋳物工業(協) 事務局長 丹羽 章 氏

リフトや建機・汎用エンジンなどが好調である一方で人材確保が課題である。今後は海外からの人材登用について検討をすすめている。材料費や人件費の上昇については製品に価格転嫁ができていない組合員が多い。

「組合女性事務局懇談会」を開催

中央会は、組合事務局の女性職員を対象に「組合女性事務局懇談会」を11月15日と12月6日の2回にわたり、ワールドカフェぎふの青木文子氏を講師に迎えて開催し、延べ28名が参加した。本事業は昨年に続く2年目の取り組みで、今年度は女性ならではの感性・視点により組合を活性化させるためのヒントを探ることを目的としている。

第1回目はハートフルスクエアGで、組合事例紹介の後に懇談会を行った。事例紹介では「組合事業への関わり方」をテーマに、川崎岐阜(協)豊田直美氏と岐阜県中古自動車販売(商工)坂綾子氏より、仕事のやりがいや心がけていること等の紹介があった。続いてワールドカフェ方式により、組合における女性の役割や今後やりたいことなどを話し合った。

第2回目はOKBふれあい会館で、活躍している女性による講演会の後に交流会を行った。講演会では「女性の感性・視点を活かして」をテーマに、(有)養老軒の渡辺幸子代表取締役社長と(株)十八楼の伊藤知子取締役より、女性ならではの苦労や女性従業員の力を引き出すために工夫

していること等が話された。続いて行われた交流会では、OST方式により、講演会の内容から話し合いたいテーマを決め、「女性事務局の働きやすい職場とは」と「女性事務局の声を聞いてもらうためには」の2テーマに分かれて意見を出し合った。

両回とも最後に全員で話し合った内容等をシェアし、参加者からは「より良い提案ができるように自身のスキルアップを図っていきたい」と前向きな声が多く聞かれた。



第1回 組合事例紹介の様子



第2回 インタビュー形式による講演会の様子



第2回 話し合った内容を発表

「協業組合情報交換会」を開催

中央会は、県内の協業組合を対象とした「協業組合実態調査」を昨年度に実施し、そこで明らかになった課題等に対して解決の方向性を探ることを目的として「協業組合情報交換会」を11月12日、12月5日・17日の3回にわたってOKBふれあい会館で開催した。ファインマネジメント研究所代表の村松晴義中小企業診断士を専門家に招き、10協業組合から延べ21名が参加し、協業組合制度の再認識と課題を共有し、今後の協業組合のあり方について方向性を検討した。

第1回は、中央会から実態調査の結果報告、村松氏より協業組合制度等について情報提供した後、村松氏を進行役に組合の現状や課題等について情報交換を行った。この情報交換をふまえて次回以降に検討するテーマを決定。「組織面」として組織変更することの是非と後継者の育成、「事業面」として協業組合事業の多角化や事業転

換の2つの側面から、協業組合のメリット・デメリットを理解しつつ、検討を進めることとした。第2・3回は、設定したテーマをもとに情報交換をした。

参加者からは「協業組合制度があったから今がある。協業組合の様々な課題が出てきたが、他組合から良い意見も聞くことができた」「疑問点も解決でき、大変参考になった」「情報交換の場を設けてもらいたい」といった感想が聞かれた。村松氏は「今回の情報交換会をきっかけに協業組合間連携にもつなげてほしい」と締めくくった。



協業組合について積極的に情報交換

組合事務局スキルアップ講座 第6回を開催、全講座が終了

中央会は、組合事務局職員を対象として「組合事務局スキルアップ講座 第6回 組合運営～活性化編～」を11月28日にOKBふれあい会館で行った。

「活力ある組合に向けて～成功事例から学ぶ～」をテーマに、明治大学政治経済学部森下正専任教授を講師に迎え、組合を取り巻く経営環境や多様化する連携ニーズ、成功事例に学ぶ今後の組合のあり方や組合活性化に向けた組合事務局の役割について講義があった。森下教授は共同事業の創造のために事務局に必要な取り組みとして「提案力を身につけるための観察習慣」「新たな気付き等を生む場を提供するための異業種・異分野・異地域との交

流」「理論的に確立されている改善やマーケティング手法の習得」「未来を予見する教養学習」をアドバイスした。

以上で6回にわたって開催したスキルアップ講座は終了した。全回出席した方も多く、参加者からは「組合事務局に必要な知識を得ることができ大変勉強になった」「今後の組合事業に活かしていきたい」といった声が聞かれた。



森下教授の組合活性化にむけた講義

第3回工業高校生金型コンテストを開催

岐阜県金型工業組合（黒田隆理事長）

岐阜県金型（工組）は、岐阜県教育委員会との共催で、「第3回工業高校生金型コンテスト」を開催し、12月8日に美濃加茂市の県立国際たくみアカデミーで審査及び表彰式を行った。

コンテストはプレス金型と射出成形金型の2部門で、県内の工業高校10校の生徒が金型の設計から製品製造に取り組み、作業工程時からの創意工夫や意欲、独創性、製作技術、製品精度を競う。金型製作の技能継承を図るとともに、ものづくりの楽しさを体感することで、ものづくり人材の育成・定着を目的としている。1チームにつき1地元企業がサポートし、約半年をかけてオリジナルキーホルダーを完成させた。コンテストの審査当日は、製作した金型とキーホルダー、設計図、取り組みをまとめたポスターの展示に加え、金型組付け作業とプレゼンテーションが行われた。

今回の優秀賞は、プレス部門ではイニシャルキーホルダーを製作した可児工業高校（協力：（株）鳥羽工産）、射出部門ではさるぼぼの防犯ブザーを製作した高山工業高校（協力：（株）岐阜多田精機）が受賞した。

黒田理事長は「作品は回を重ねるごとにレベルアップしており、生徒の成長に驚いた。結果発表では生徒と企業担当者が称え合って喜ぶ姿が見られ、ものづくりに対する熱意が共有されていると感じた。今後の金型業界で活躍する人材が輩出されることを期待したい」と話した。



完成した金型と製品を展示

婦人子供服製造技能士2級に合格!県知事賞も受賞

岐阜県既製服縫製工業組合（平嶋千里理事長）

岐阜県既製服縫製（工組）が実施する「プロフェッショナル・マシンオペレーター育成講座」の受講生の中から、国家検定である婦人子供服製造技能士 婦人子供既製服縫製作業2級の合格者が誕生した。

組合では付加価値の高いものづくりのための技術者育成を重要事業と位置づけ、昨年度から中央会の組合等支援事業を活用して講座を開講し、組合員の従業員が参加している。1年目は「縫製業における日本人従事者の技術向上」、2年目は「最新素材に対応する高度な縫製関係技術の習得」をテーマに、製図や縫製などの実技を交えた実践的な研修を行ってきた。研修の成果として技能検定のチャレンジを推進しており、技能検定を岐阜県で開催し、講座受講者から合格者を輩出することは組合の悲願でもあった。

見事2級に合格した講座受講者の中から株式会社サン

ワークの金森麻衣さんと斎藤弘則さんの2名が、技能検定の成績が優秀であったとして11月20日にぎふ清流文化プラザで行われた岐阜県職業能力開発促進大会の表彰式にて表彰された。

特に優秀な成績であったとして知事賞を受賞された金森さんは「組合の研修ではトップレベルの技術を学ぶことができ非常に勉強になっている。高度な縫製技術を持つパタンナーとして活躍することを目指している。これからもさらに技術を磨いていきたい」と意欲を示した。



岐阜県職業能力開発促進大会 表彰式にて
左：斎藤弘則さん 右：金森麻衣さん

サイバーリスクとその対応策についての研修会を開催

岐阜県可児工業団地協同組合（傍島茂夫理事長）

岐阜県可児工業団地（協）は今年度の重点事業としてサイバーセキュリティ対策を掲げており、『中小企業におけるサイバーリスクとその対応策～「うちの会社に限って」…は大間違い!中小企業に忍び寄るサイバー攻撃の脅威～』をテーマとした研修会を11月26日に岐阜県金属工業団地（協）会議室で開催した。同組合と同業種で共通の課題を抱える川崎岐阜（協）と岐阜県金属工業団地（協）の組合員に対しても参加を呼びかけ、3組合から64名が参加した。

講師にはSOMPOリスクマネジメント（株）サイバーセキュリティ事業本部の西出三輝上席コンサルタントを招き、高度化・巧妙化したサイバー攻撃による被害を未然に防ぐセキュリティ対策を学んだ。西出氏は「大手企業のサイバーセキュリティの強靱化が進むにつれて、取引先の中小企業を経由して大手企業のシステムに入り込むなど、企業規模を問わ

ずサイバー攻撃を仕掛ける事例が増えている。中小企業が踏み台となり自社のみならず取引先まで影響を及ぼす可能性がある。サイバーセキュリティ対策を事業継続や新たな価値創出のために不可欠な投資として捉える意識改革が必要だ」と説明し、（独）情報処理推進機構が発表する「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」等を参考に対策に取り組むことを推奨した。

参加者からは「これまでサイバーリスクについて関係ないと思っていたが対策を行う大切さを知った。自社のセキュリティを見直したい」といった感想が聞かれた。



研修会の様子

組合特別宿泊プランを提供

下呂温泉旅館協同組合（瀧多賀男理事長）

下呂温泉旅館（協）は、12月から2月までの期間に例年の組合プランよりお値打ちに宿泊できる「冬の特別宿泊プラン」を提供しており好評である。恒例の「下呂温泉冬の花火物語」も開幕し、時節や行事に合わせて企画された花火で観光客を楽しませている。昨年7月の豪雨災害による風評被害などの影響で前年割れが続いていた宿泊客は、12月にプラスに転じ、回復の兆しが見えてきた。

組合では、豪雨による土砂崩れでJR高山線の飛騨金山～下呂間が不通になった際、即座に名古屋から下呂温泉へ運行する臨時バスを増便して対応した。鉄道は8月に開通したものの、風評被害の拡大を防ぐため、観光協会と協力して東京や大阪、愛知へPRキャラバン強化、さらに20%割引で利用できる冬の特別宿泊プランなどを用意した。

瀧理事長は「地道な活動が実を結び、観光客を呼び戻す

ことができた。下呂温泉にはこれまでも困難な局面を乗り越えてきた底力がある。風評被害の影響はまだ続いているが、若い世代にも過去の経験を伝え、皆が一丸となって下呂温泉の健在ぶりをPRしていく」と話した。



下呂温泉花火物語

※冬の下呂温泉花火物語は3月30日までの毎週土曜日20時30分～飛騨川の下呂大橋周辺で開催
※花火及び宿泊プランの予約・問い合わせは下呂温泉旅館協同組合の電話又はHPへ

美濃焼新春見本市で新作を披露

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会（河口一理事長）

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会に所属する13組合は、新春恒例の「2019年美濃焼新春見本市」を多治見市、土岐市、瑞浪市で、1月8日・9日に開催した。この見本市は、各組合員が新製品を展示し、商社等にアピールする場として毎年実施している。美濃焼を支えてきた安価で優良な粘土が枯渇の危機にあり、原料費の値上げなど業界を取り巻く環境は厳しさを増しているが、各社が生き残りをかけて新たな取引先や販路拡大を狙う。

多治見市のセラミックパークMINOでは、笠原・滝呂・市之倉・高田の4陶工（協）、土岐市のセラトピア土岐では、土岐津・泉・肥田・土岐津西部・下石・妻木の6陶工（協）、駄知体育館では駄知陶工（協）が単独で、瑞浪市総合文化センターでは、瑞浪・恵那の2陶工（協）が出展した。

日本茶の海外普及を受けて桜をあしらった茶器や海外の和食店向けとして龍を描いた華やかな絵皿、多忙な女性を意識して調理機器としても使えるお洒落な耐熱陶器など、それぞれにターゲットを定めて工夫を凝らした製品が展示され、国内外から訪れたバイヤーが商品を手にとって活発に商談する様子で賑わった。



セラトピア土岐の様子

組合事業のIoT化に向け、長良川温泉運営戦略協議会を設立

岐阜長良川温泉旅館協同組合（伊藤善男理事長）

岐阜長良川温泉旅館（協）は、十六総合研究所及び岐阜商工会議所と共同して「長良川温泉運営戦略協議会」を12月7日に設立した。同協議会は、十六総合研究所及び岐阜商工会議所が取り組むIoT活性化事業の一環として、組合が主体となって活動するもの。

組合員である岐阜市長良川沿いにある7つの旅館・ホテルが、IoT活用支援を通して中長期的視野に立ったブランド戦略を検討し、東京オリンピックやリニア開通を見据えた旅行者の集客強化、予約や顧客情報の管理など各組合員の現場効率化、共同購買や人材確保など新たな組合事業の推進に取り組む予定としている。

具体的には、長良川の鵜飼や温泉のPR強化に加えて、バックヤードやフロント業務における見える化と省力化、

フルーツなど全国の特産品の共同購入や季節によって変動する労働力の平準化といった内容を検討項目として計画している。今後各組合員の状況を検証してから、具体的な課題を設ける。

伊藤理事長は「全国には長良川の鵜飼や温泉を知らない人がまだ多くいる。IoTを活用した効果的なPRなど、組合全体で長良川温泉のブランディングに取り組みたい」と意気込みを話した。



長良川沿いの小道にある足湯
（長良川観光ホテル石金）

平成30年度小規模事業者組織化指導事業補助金「取引力強化推進事業」取組事例紹介

中央会が小企業者組合を対象に全国中央会の助成事業として実施する「取引力強化推進事業」に県内3組合が採択されて事業に取り組み、ホームページの作成又はリニューアルを行いましたので紹介します。各組合の新しいホームページにぜひアクセスしてみてください!

同事業は、中小企業・小規模事業者の連携による取引力強化促進を図るために実施する、共同販売・共同宣伝、組合員の事業・企業紹介等のために組合が行うホームページやチラシの作成等、共同事業の活性化・組合員の受注促進等の取り組みに対して助成を行うものです。

【小企業者組合とは】

事業協同組合、商工組合及び商店街振興組合等のうち、その直接又は間接の構成員の3/4以上が小企業者である組合と、すべての企業組合です。なお、小企業者とは、常時使用する従業員の数が5人（商業又はサービス業は2人）以下の会社及び個人をいいます。

●土岐市陶磁器卸商業協同組合（深萱洋勝理事長）

【URL】<http://www.tokishi.com/>

○事業テーマ

「共同販売事業の強化のためのホームページ作成事業」

○内容

- ・組合が共同販売事業として運営する店舗「陶土う庵（どうどうあん）」のネットショッピング機能を新設
- ・土岐市美濃焼ブランドカアップのために作成したロゴマークの周知強化



●岐阜県電気工事業工業組合（森輝廣理事長）

【URL】<https://gifuden.org/>

○事業テーマ

「組合員の取引力強化推進を目的としたホームページ改修事業」

○内容

- ・確かな技能を持ち合わせた組合員であることの証明として作成したロゴマーク「まちの電気ドクター」の周知を強化
- ・一般顧客に対して組合員の有する高い技能をPRする情報発信機能を新設



●奥美濃カレー協同組合（旗哲朗理事長）

【URL】<http://www.okuminocurry.com/>

○事業テーマ

「奥美濃カレー協同組合の公式ホームページ作成」

○内容

- ・公式ホームページを新設し、地域団体商標登録「奥美濃カレー」の紹介、組合員店舗の一覧とマップ、イベント出展など組合の活動状況報告



平成30年度中小企業活路開拓調査・実現化事業「中小企業組合等活路開拓事業」取組事例紹介

全国中央会補助事業「中小企業組合等活路開拓事業」に県内2組合が採択され、事業に取り組んでいますので各事業内容を紹介します。

同事業は、既存事業分野の活力向上、取引力の強化、海外展開戦略、情報化の促進、技術・技能の継承など、中小企業が単独では解決困難なテーマについて、中小企業連携グループが取り組むプロジェクトを支援するものです。

●駄知小売商業協同組合（中島善二理事長）

○事業テーマ

「土岐市小売商業者の新たな販路開拓に向けた展示会出展事業」

○内容

シンガポールのサンテック・シンガポールで開催された展示会「FoodJapan2018」に出展し、組合員が取り扱う岐阜県産のお酒、ワイン、加工食品、お茶、お米等を出品し、商品の求評を実施すると共に販路開拓を目指した。



●土岐市陶磁器卸商業協同組合（深萱洋勝理事長）

○事業テーマ

「アメリカ市場における土岐市美濃焼の新販路創出のための展示会出展」

○内容

ニューヨークのジェイコブ・ジャヴィッツ・コンベンションセンターで開催された展示会「NY NOW2018」に出展し、組合員が取り扱う美濃焼を出品し、販路開拓を目指した。



※小規模事業者組織化指導事業補助金及び中小企業活路開拓調査・実現化事業について、次年度はこれまで以上に「伴走型支援」が可能となる仕組みとして見直しが図られています。詳細がわかり次第（4月以降を予定）改めてお知らせいたします。取り組みを検討されている場合は、是非、本会にご相談下さい。全力でサポートさせていただきます!



©岐阜県 清流の国
ぎふ・ミナモト #0682

組合事務局 キラキラ職員レター

組合事務局でキラキラと働いている職員の方を、キラキラした川の水面に住む妖精「ミナモ」が紹介するコーナーです。さわやかな川の流れのように、人々が出会い、絆を深めるきっかけとなることを願っています。



坂 綾子 さん

岐阜県中古自動車販売 商工組合

(岐阜市日置江2648番地の2
岐阜県自動車会館4階・南)
<http://www.ju-gifu.or.jp/>

最初はパートで働き始めましたが、子育てが一段落したことを機に、現在は正社員として思い切り仕事をさせていただいています。理事会や総会準備の他、組合委員会や外部会議の参加など責任ある仕事を任せていただき、やりがいを感じています。

組合は中古自動車の販売に関して幅広く業務を行っています。組合員さんが些細なことでも気軽に「組合に聞いてみよう」とお声がけいただけるように心掛けています。

「できません」「わかりません」はなるべく言いたくありませんので、まずは「はい」とお応えし、前向きに捉えることを大切にしています。

仕事と家事の合間には、学生時代から続けているバレエと習字で体と頭をリフレッシュしています。最近では夫婦でジムにも通い始めました。オン・オフともに充実した日々を過ごせることに心から感謝しています。

これからも皆様のお役に立てるよう色々なことにチャレンジしていきたいです。車のことならまずはJU岐阜へお問い合わせください♪



塩谷 実津子 さん

岐阜県砕石工業組合

(岐阜市六条南2丁目12番13号)
<http://www.chuokai-gifu.or.jp/gsk/>

平成元年から働き始め、これまで5名の理事長のもとでお仕事をさせていただいています。

総会・役員会準備、講習会、会計などを担当するほか、賞状書士の資格を活かして、組合で行う表彰の賞状は全て自分で書いています。

県内5支部の砕石販売事業協同組合と協力して事業を行う機会も多く、各組合職員の皆さんとは講習会等で顔を合わせる以外にも、日ごろから女子会を開いて楽しく交流をしています。

歴代の素晴らしい理事長をはじめ組合員の皆さんは、事務局を信頼し大切にしてくださっています。皆さんの思いに応えたいという一心で日々積み重ねてきましたが、組合職員として県知事表彰までいただくことができ、大変感謝しています。

組合は間もなく設立43年目を迎え、次の世代に向けて新たな一歩を踏み出そうとしています。私も事務局としてしっかりサポートしていけるよう、これからも頑張ります。

● 組合士の問題に挑戦！ ●

中小企業組合検定は、組合事務局で働く役員が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験で、「組合会計」「組合制度」「組合運営」の3科目があります。試験に合格し実務経験を持つ方に、中小企業組合士（通称「組合士」）の称号を与える制度で、毎年12月の第1日曜日に実施しています。（主催：全国中小企業団体中央会 後援：中小企業庁 協力：都道府県中小企業団体中央会）

「中小企業組合検定」の過去問と解答を掲載します。日ごろの組合運営の参考にさせていただくとともに、ぜひ検定にもチャレンジしてください。

平成29年度「組合制度」より抜粋

問 次に掲げるA～Cは、「中小企業等協同組合法」「中小企業団体の組織に関する法律」の条文である。内容が正しいものには○印を、誤っているものには×印を記入しなさい。

- A. 中小企業等協同組合法（役員に欠員を生じた場合の措置）
第三十六条の二 役員が欠けた場合又はこの法律若しくは定款で定めた役員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。
- B. 中小企業等協同組合法（役員の変更の届出）
第三十五条の二 組合は、役員の名又は住所に変更があったときは、その変更の日から三週間以内に、行政庁にその旨を届け出なければならない。
- C. 中小企業団体の組織に関する法律 協業組合（競業の禁止）
第五条の八 組合員は、理事会の承認を得なければ、協業組合の行う事業の部類に属する事業の全部若しくは一部を行ない、又はその行う事業の部類に属する事業の全部若しくは一部を行なう法人の役員になつてはならない。
2 前項の規定は、組合員たる法人の役員に準用する。

答 AO B×（三週間→二週間） C×（理事会→総会）



景況レポート

平成30年
12月末調査
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名
の情報連絡票から

〔I〕12月の特色

- ◆景況感DI値マイナス16
～前月比プラス1ポイントで横ばい～
- ◆人手不足による経営への悪影響を懸念

〔II〕12月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転4、悪化20で、DI値はマイナス16となり、前月のDI値マイナス17に対し、1ポイントの改善となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はマイナス20となり、前月比で5ポイントの改善、非製造業のDI値はマイナス12となり、前月比で3ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業において菓子、東濃ひのき、特殊紙、タイルの4業種(前月比+1業種)であり、悪化したとする業種は、米菓、窯業原料の2業種(前月比-2業種)となった。

また、非製造業において改善したとする業種は、機械・工具販売、大垣市商店街の2業種(前月比-2業種)であり、悪化したとする業種は、水産物商業、広告美術、建築板金の3業種(前月比+3業種)となった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス12で前月比3ポイントの悪化、販売価格DI値はマイナス8で前月比5ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス20で前月比2ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス9で前月比2ポイントの改善、雇用人員DI値はマイ

ナス8で前月比2ポイントの悪化となった。

コメントを見ると、製造業では、「刃物製造メーカー国内向け、輸出向け共に売上・収益共にやや増加状況。一部の製品、特に包丁・ポケットナイフ等付加価値の高いものが人気。(金属製品(内需))」、「団地全体の使用電力量は前年同月比1.1%増加と15ヵ月連続でプラスが続く。(可児工業団地)」などプラスの内容が報告された一方で、「業界の景況が悪化している要因として、暖冬の影響により防寒具の売行きが悪い。(メンズアパレル)」などマイナスの内容が報告された。

非製造業では、「12月の宿泊人員は、2,476人(2.76%)の増加となり、4ヵ月ぶりに増加に転じた。7月の豪雨の風評被害の影響がようやく終息したようであり、今後観光客が増加する事が期待されている。(下呂温泉旅館)」、「国や県より公共工事の発注が多くあり、売上高は前年同月と比べ増加となった。(土木(岐阜地区))、(土木(飛騨地区))」などプラスの内容が報告された一方で、「12月は需要期であるが、例年と比べて景況感に乏しく、売上高は低迷している。(陶磁器卸)」など年末繁忙期の不振を伝えるマイナスの内容が報告された。

また、「働き方改革の推進により残業等が厳しいこともあり、相変わらず人手不足状態が続く。(鋳物)」、「材料及び人件費のコストが高騰を続けており、利益増加の見込みは少ない。(室内装飾)」、「乗務員不足も重なり、輸送納期を守ることが困難になった。(貨物運送業)」など、製造業・非製造業両方より、人手不足とその影響を懸念する内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加20、減少32でDI値はマイナス12となり、前月のマイナス9に対し、3ポイントの悪化となった。

売上高が増加した業種は14業種(前月比-2業種)あり、製造業では家具、特殊紙、砂利生産、メッキ、可児工業団地、非製造業では電設資材卸、機械・工具販売、中古自動車販売、商店街(大垣)、広告美術、理容・美容業、土木(岐阜地区)、土木(飛騨地区)、木造建築である。

売上高が減少した業種は23業種(前月比+1業種)あり、特に木材・木製品、小売業の区分で多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇4、低下12でDI値はマイナス8となり、前月のマイナス13に対し、5ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は3業種(前月比-1業種)あり、製造業では特殊紙、非製造業では石油製品販売、貨物運送(県域)である。

販売価格が低下した業種は9業種(前月比-4業種)であった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転8、悪化28でDI値はマイナス20となり、前月のマイナス22に対し、2ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は6業種(前月比±0業種)あり、製造業では銘木、家具、メッキ、可児工業団地、非製造業では広告美術、木造建築である。

収益状況が悪化した業種は20業種(前月比-1業種)であった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転1、悪化10でDI値はマイナス9となり、前月のマイナス11に対し、2ポイントの改善となった。

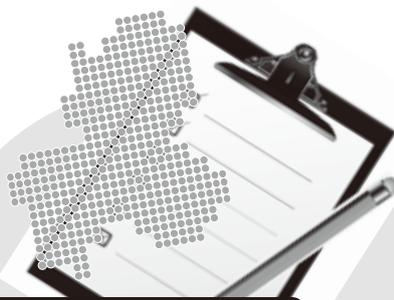
資金繰りが好転した業種は1業種(前月比±0業種)あり、製造業の可児工業団地である。

資金繰りが悪化した業種は7業種(前月比-2業種)であった。

雇用人員の動向は、前年同月比で好転4、悪化12でDI値はマイナス8となり、前月のマイナス6に対し、2ポイントの悪化となった。

雇用人員が増加した業種は3業種(前月比±0業種)あり、製造業の米菓、縫製(既製服)、可児工業団地である。

雇用人員が減少した業種は9業種(前月比+2業種)であった。



県内中小企業

(12月末調査)

主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食 料 品	牛 乳		△	△	△	△	△	△
	食 肉 (国 産)		△	△	△	△	△	△
	菓 子		△	△	▲	△	△	△
	米 菓		△	△	△	△	○	△
	製 麵		▲	△	▲	△	△	△
織 維 ・ 同 製 品	撚 糸		△	△	△	△	△	△
	ニ ッ ト 工 業		△	△	△	△	△	△
	毛 織 物		△	△	△	△	△	△
	合 成 織 維 織 物		△	△	△	△	△	△
	メ ン ズ ア パ レ ル		▲	△	▲	△	△	▲
婦 人 ・ 子 供 服			▲	▲	▲	△	△	▲
	縫 製 (既 製 服)		▲	△	△	△	○	▲
木 材 ・ 木 製 品	製 材		△	△	△	△	△	△
	銘 木		▲	▲	○	△	△	△
	家 具		○	△	○	△	△	△
紙 紙 加 工 品	機 械 す き 和 紙		△	△	△	△	▲	▲
	特 殊 紙		○	○	▲	▲	△	△
	紙 加 工 品		△	△	△	△	△	△
印 刷	印 刷		△	△	▲	▲	△	▲
化 学 ゴ ム	プ ラ ス チ ッ ク		▲	△	▲	△	△	△
窯 業 ・ 土 石	陶 磁 器 (工 業)		▲	△	▲	▲	△	▲
	タ イ ル		△	△	△	△	△	△
	窯 業 原 料		▲	△	▲	△	△	▲
	石 灰		▲	▲	▲	△	△	▲
	生 コ ン ク リ ー ト		△	△	△	△	△	△
	砂 利 生 産		○	△	△	△	△	△
鉄 鋼 ・ 金 属	碎 石 生 産		△	△	△	△	△	△
	鑄 物		△	△	△	△	△	△
	刃 物 等 金 属 製 品 (輸 出)		△	△	△	△	△	△
	刃 物 等 金 属 製 品 (内 需)		△	△	△	△	△	△
一 般 機 械	メ ッ キ		○	△	○	△	△	△
	県 金 属 工 業 団 地		▲	△	△	△	△	△
	可 児 工 業 団 地		○	△	○	○	○	○
輸 送 用 機 器	金 型		△	△	△	△	△	△
輸 送 用 機 器			△	△	▲	△	△	△

非 製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸 売 業	電 設 資 材 卸		○	△	△	△	△	○
	陶 磁 器 産 地 卸		▲	△	▲	△	△	▲
	機 械 ・ 工 具 販 売		○	▲	△	△	△	○
小 売 業	青 果 販 売		▲	▲	△	△	△	△
	水 産 物 商 業		▲	△	▲	△	△	▲
	家 電 機 器 販 売		△	△	△	△	△	△
	メ ガ ネ 販 売		△	△	△	△	△	△
	中 古 自 動 車 販 売		○	▲	△	△	▲	△
	石 油 製 品 販 売		▲	○	△	△	▲	△
	共 同 店 舗 (飛 騨)		▲	△	△	△	△	△
	生 花 販 売		▲	▲	△	△	▲	△
商 店 街	岐 阜 市 商 店 街		▲	△	▲	△	△	▲
	大 垣 市 商 店 街		○	△	△	△	△	△
	高 山 市 商 店 街		△	△	△	△	△	△
サ ー ビ ス 業	自 動 車 車 体 整 備		△	△	△	△	△	▲
	長 良 川 畔 旅 館		△	△	▲	▲	▲	△
	下 呂 温 泉 旅 館		▲	△	▲	▲	△	▲
	高 山 旅 館		▲	△	▲	△	△	△
	ク リ ー ニ ン グ		△	△	△	△	△	△
	広 告 美 術		○	△	○	△	△	△
	旅 行 業		△	△	△	△	△	△
	理 容 ・ 美 容 業		○	△	△	△	▲	△
建 設 業	土 木 (岐 阜 地 区)		○	△	△	△	△	△
	土 木 (飛 騨 地 区)		○	△	△	△	△	△
	建 築 設 計		▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄 構 造 物		△	△	△	△	△	△
	電 気 工 事		▲	△	△	△	▲	△
	管 設 備 工 事		△	△	△	△	△	△
	建 築 板 金		△	△	△	△	△	△
	室 内 装 飾		△	△	△	△	△	△
	木 造 建 築		○	△	○	△	▲	△
	運 輸 業	貨 物 運 送 (県 域)		△	○	▲	△	▲
軽 運 送		△	△	△	△	△	△	
其 他 の 非 製 造 業	貸 植 木 業		▲	▲	▲	▲	△	△

凡 例 ○ : [増加]、[上昇]、[好転]
 △ : [不変]
 ▲ : [減少]、[下降]、[悪化]

職員レポート

中央会職員が日々の仕事や生活を行う中で感じていることなどを綴る「職員レポート」。第25回は中央会事務局の“ジュノンボーイ”、玉井主事に筆を執っていただきました。



東濃支所に配属になって

東濃支所 主事 玉井 涼悟

いつも大変お世話になっております。東濃支所の玉井です。岐阜県中央会に入職し早いもので3年目、東濃支所に配属されてからは9カ月以上が経ちました。

まだまだ勤続年数も先輩方と比べて浅いため、関わらせていただいている方も少ないと思いますので、まずは自己紹介をさせていただきたいと思います。

私は平成28年4月に新卒として岐阜県中央会に採用され、指導課に配属されました。

指導課で1年を過ごし、翌年は総務課に配属されまた1年を過ごしました。そして、平成30年4月から東濃支所に配属され、今に至ります。現在25歳の若造です。趣味は、車、ドライブ、旅行、音楽鑑賞、ファッションです。車については、今は一般的なコンパクトカーに乗っておりますが、いつかはスポーツカーのオーナーになってやるという野望を持っています。また、音楽については、洋楽が大好きでマイケル・ジャクソンをこよなく愛しています。ドライブ好き、車好き、音楽好きということもあり、1人で車を運転しているとき、いつも車内は1人カラオケ状態です。もしも後ろの車をルームミラーで見たととき、運転している人間が一人で口を開け何か歌っていたら、申し訳ありません、それは私かもしれません。どうかお許しください…。

岐阜県中央会に採用された当時は、正直なところ、決算関係書類の確認や会計処理など、文学部出身のバリバリの文系（だからといって、文才があるわけでもないのですが…）である私が苦手とする「数字」を扱う仕事であるということ、また、組合さんを訪問させていただき、様々な会社の経営者様とお話する機会も多い仕事であるということで、自分に務まるのかと不安だったこと、とても緊張していたことを覚えています。

さて、先ほども触れましたが、私は3年目である平成30年4月から東濃支所に配属になりました。東濃支所に異動と聞いた際には、最初とても驚きました。なぜなら、配属された当時の年齢は24歳であり、この年齢で支所に配属されるという前例がなかったためです。また、今まで東濃地方を訪れた経験は決して多くなく、どういった地域なのか知識が多くはなかったためです。しかし、驚きこそしたものの、中央会という組織に入職したからには、組合さんを支援する仕事をしたい、知識を身に付けたい、地場産業を支える企業と関わりたいと考えていた私は大変嬉しかったです。

東濃支所に異動してきた当初は、総務課という中央会の中の業務を行う現場に出る機会が少ない課に1年間所

属していたこともあり、東濃支所の現場に出掛ける機会の多さ、沢山の方とお会いしお話をさせていただく機会の多さに緊張していました。しかし今では、そのような機会が多く、組合員の方々から生の声を聞くことができることが、東濃支所の一番の良さだと思うようになりました。また、組合の方から、決算関係書類や組合運営などについて何かご相談いただいた際に「ありがとう、助かったよ」と言っただけだったり、組合事務所を訪問させていただいた際に「来てくれてありがとう、また来てくださいね」などと言っただけのときには、東濃支所に異動してきて本当に良かったと感じます。

また、東濃地域といえば陶磁器産業が代表的な産業です。近年は陶磁器の国内需要減少や中国製陶磁器の台頭といった、厳しい状況であるとお声を組合さんからお聞きしておりますが、色々な機会に各組合の組合員さんの陶磁器を拝見していると、素敵な陶磁器が多く、大変魅力のある産業であると思います。陶磁器の魅力をPRするお手伝いなど、何らかの形で東濃地域の地場産業の発展に少しでも力になることができたらと考えております。

まだ本部に戻るつもりはありませんので（残念ながらそれを決めるのは私ではなく上司ですが…）、今後もこれまで以上に東濃地域の組合の方々のお力になれたらと思っております。

まだまだ中央会の業務については知識不足な面も多々あり、何かご相談いただいてもお答えするまでにお時間をいただいたり組合の皆様にはご迷惑をお掛けするかもしれませんが、お役に立てるよう努力して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



お気に入りの陶磁器



2019年サイバーセキュリティ月間(2/1~3/18)

～企業の皆様、まずはここから始めましょう～



現在のインターネット空間は、どの企業もいつ不正送金や企業情報窃取等のサイバー犯罪の被害に遭ってもおかしくない現状にあります。基本的なサイバーセキュリティ対策やインターネットを利用する際の注意事項を実践し、脅威から会社を守りましょう。

- ▼OSやソフトウェアを更新し、ウイルス対策ソフトを導入・更新する
- ▼社内と社外のネットワークを分離する
- ▼同じID・パスワードを色々なWebサービスで使いまわさない
- ▼不用意にメール・添付ファイルを開封したり、リンクをクリックしない
- ▼定期的にバックアップをとっておく 等

サイバー犯罪の手口を知ることはセキュリティ対策の第一歩です。社内研修等でのサイバーセキュリティ対策の講話依頼を受け付けていますので、ご検討ください。

■お問い合わせ先:岐阜県警察本部サイバー犯罪対策室 TEL058-271-2424(代表)

■相談 先:最寄りの警察署、警察本部警察安全相談室TEL058-272-9110(相談ダイヤル#9110)

○岐阜労働局からのお知らせ

既にご承知のとおり「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(働き方改革関連法)」は2019年4月1日以降順次施行されることとなっています。

岐阜労働局では、中小企業・小規模事業者等県内の事業主を対象とした「働き方改革関連法説明会」を開催し、時間外労働の上限規制に係る36協定の具体的な作成方法や同一労働同一賃金に係る具体的な考え方等省令・指針の内容に係る詳細な説明会を開催します。

日時 平成31年3月13日(水)

①10:00 ~ 12:00

②13:30 ~ 15:30

場所 長良川国際会議場 4階 大会議室
(岐阜市長良川福光2695-2)

定員 200名(先着順)

申込方法など詳細は、岐阜労働局雇用環境・均等室(Tel058-245-1550)にお問い合わせください。

今年もよろしく申し上げます



昨年は、本会の事業運営に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

「連携の力で無限の可能性にチャレンジ!~中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します~」をスローガンに、会員組合の皆様方の生の声を聞き、ニーズに応じた支援に取り組んでいく所存です。

また、皆様に本誌を活用いただくため、掲載記事の見直しを行っておりますので、ご意見やご提案をお寄せいただくとともに、組合員の皆様への情報提供などにご活用いただきますようお願い申し上げます。



中央会日誌

<11月21日~30日>

27日 中央会理事会・役員交流会(ホテルパーク)

<12月1日~28日>

5日 東海・北陸ブロック中央会 事務局代表者会議(愛知県中央会)

6日 平成30年度岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり県民会議(岐阜大学)

13日 岐阜中金会経営者セミナー(ホテルパーク)

19日 岐阜商工信用組合 新社屋竣工式(岐阜商工信用組合本店)

日本政策金融公庫 地域経済活性化シンポジウム(ぎふ清流文化プラザ)

25日 岐阜県障がい者総合就労支援センター 安全祈願祭・建築工事起工式

(岐阜県障がい者総合就労支援センター)

若年技能者人材育成支援事業等に係る平成30年度第2回連携推進会議

(県人材開発支援センター)

変わります。 変わりません。

今、中小企業のお客さまが抱えている課題は、
かつて乗り越えてきた課題とは大きく違う。
だから今、私たち商工中金も変わらなくてはならない。
これからも変わらず、
中小企業のお客さまを支えていくために、
私たちは変わりつづけます。

変わらない使命のために、変わりつづける。 関根正裕



代表取締役社長
関根 正裕

個人のお客さま向けの定期預金です。

有利な金利設定
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利
(元本保証)

1年、2年、3年から
期間が選べる

\\ 安心、確実、お得に増やす //

定期預金

マイナーベスト

岐阜支店 058(263)9191 〒500-8028 岐阜市若宮町 9-16
高山営業所 0577(32)3353 〒506-0025 高山市天満町 5-1



人を思う。未来を思う。

商工中金

この広報誌は岐阜県からの助成を受けています。